

# 糖尿病透析予防指導がはじまりました

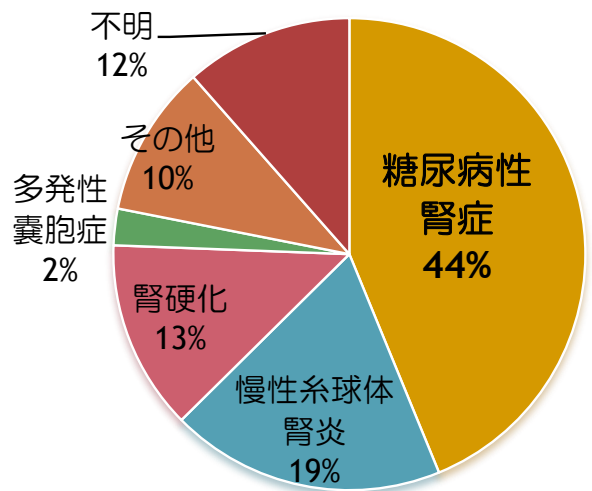
5月号の多摩南ミニ通信で、「糖尿病で透析が必要な体にならないために」という記事を掲載しましたが、覚えていらっしゃいますか？

糖尿病を発症し三大合併症の一つである糖尿病性腎症が進行すると、腎不全となり透析が必要な体になってしまいます。事実、糖尿病性腎症が原因で透析を開始した患者さんは、全体の44%にのぼります。

当院では、この糖尿病腎症進行を抑制し、透析が必要となる状態を防ぐ、あるいは遅らせるため、3月から新たな取り組みを始めています。

医師・看護師・管理栄養士が透析予防診療チームを設置し、週1回それぞれの立場から患者さんの生活状況に合わせた治療・指導を同一日に行い、療養生活をサポートしています。

## 新規透析導入患者の原因疾患



## 【どのような人が対象になるの？】

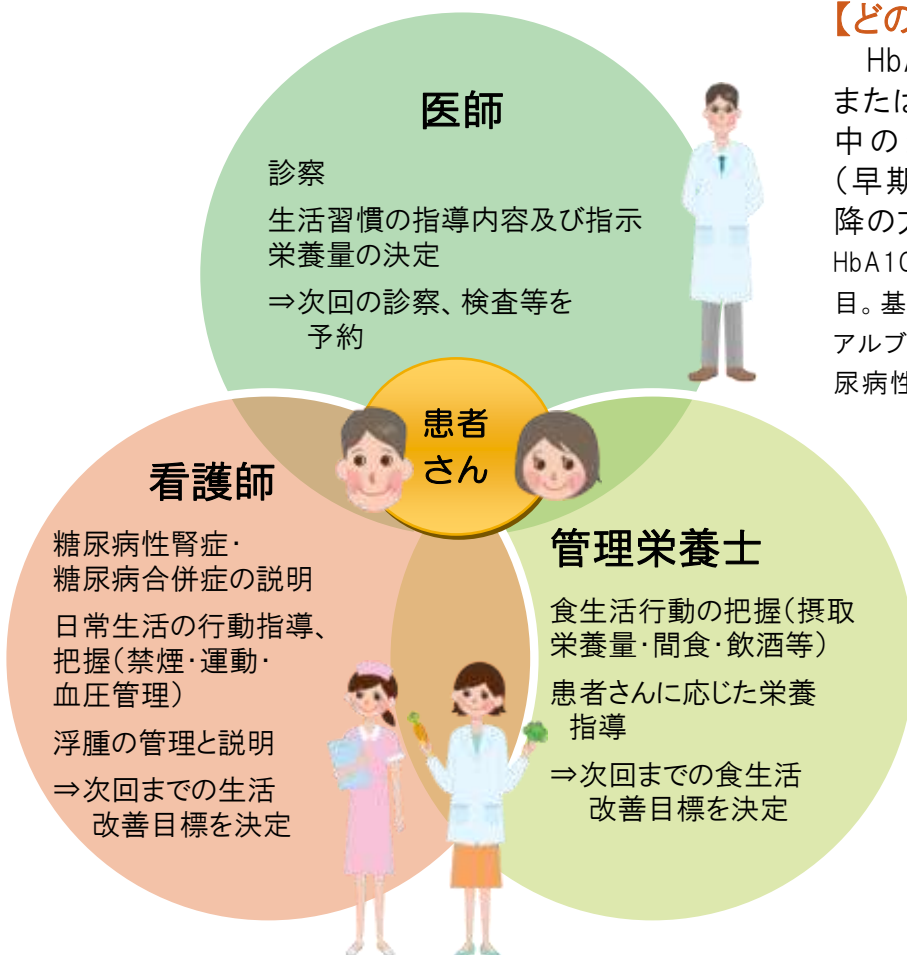
HbA1Cが6.5%(国際基準値)以上または内服薬やインスリン製剤を使用中の当院外来患者さんで、腎症2期(早期腎症・微量アルブミン尿出現)以降の方が対象になります。

HbA1Cとは・・・血液検査で糖代謝を調べる項目。基準値は4.6~6.2%。

アルブミンとは・・・尿に出てくるタンパクで、糖尿病性腎症を見つける目安になる。

## 【治療や指導内容は？】

左図のように、医師が、透析予防指導が必要と判断したら、看護師・管理栄養士とともに、患者さんにあった治療・指導のプランをたて、それぞれの立場からアプローチし、糖尿病と向き合う患者さんのサポートをします。



# 今月の医療

## 金属アレルギーについて 皮膚科

### 金属アレルギーとは？

金属が原因で起こるアレルギーです。  
直接金属がアレルギー反応を起こすわけではなく、汗や唾液によってイオン化した金属が体内に取り込まれ、これが皮膚や粘膜で新しいたんぱく質となります。これに免疫を担当する細胞が過剰に反応することで症状が出ます。



金属アレルギーといふとかぶれ(接触皮膚炎)がまず思い浮かぶと思いますが、金属が発症や増悪に関与しているといわれる皮膚疾患は意外と沢山あり、かぶれ以外にも舌炎、口内炎、口唇炎、扁平苔癬、異汗性湿疹、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、掌蹠膿疱症、蕁麻疹、痒疹などがあります。(もちろんこれらの疾患が、全て金属が原因というわけではありません)

### どうやって検査するの？

信頼性が高い検査は、金属パッチテストです。

金属パッチテストとは皮膚表面(背部や腕)に金属を含んだ試薬を貼ることにより、アレルギー反応を起こすかどうか調べる検査です。

テストではアクセサリーや歯科で使用される金属 17 種類(アルミニウム、金、スズ、鉄、パラジウム、インジウム、イリジウム、亜鉛、マンガン、銀、コバルト、水銀、クロム、銅、ニッケル)を検査することができます。

検査結果が陽性にできればその金属アレルギーであることと診断できますが、条件によっては偽陰性(本当は陽性なのに陰性になってしまう)になることもあり注意が必要です。また夏期は汗の影響を受けるため検査を行うことができません。



金属アレルギーが疑われる症状のある方は、皮膚科専門医にご相談ください。

### 治療法は？

基本的にアレルギーのある金属が含まれているものとの接触を避けていきます。全身型金属アレルギーではその金属が含まれている歯科金属や食品の摂取を制限していきます。

歯科金属はパラジウム、金、水銀、スズなどを含有することが多く、意外と思われるかもしれませんが、ニッケル、クロム、コバルトなどは、チョコレート、ココア、豆類などに多く含まれています。



皮膚科 副医長 張本 敦子

☆当院は紹介制の医療機関のため、まずかかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。